［標準様式例７－３］

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	Ｈ３０防災情報システム活用手法検討業務
業務概要	本業務は、国土交通本省でシステムを構築した統合災害情報システム及び関東地方整備局でシステムを構築した自治体系統合災害情報システムについて、更なる活用方法を検討し、運用マニュアルの改定及び機能拡充計画の策定を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官　関東地方整備局長　石原　康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心２番地１
契約年月日	平成３０年１０月　１日
契約業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社　首都圏本社
契約業者の住所	東京都千代田区神田錦町三丁目２２番地
契約金額	￥１４，９９０，４００円（税込み）
予定価格	￥１４，９９０，４００円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、当該業務の実施方針と特定テーマに関する技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザルに準じた方式により選定を行った。 パシフィックコンサルタンツ株式会社は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業務場所	関東地方整備局
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間（自）	平成３０年１０月　２日
履行期間（至）	平成３１年　２月２８日
備考	会計法２９条の３第４項　予決令第１０２条の４第３号

備考
公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。